

全国消費者団体連絡会 2010 年度の課題(概要)

【2010 年度の課題の基本方向】

- ① 私たちは消費者の権利と利益を守るため、全国で、地方自治体、消費者庁、消費者委員会と協働した取り組みをすすめるとともに積極的に提言し、国と地方における消費者行政の充実・強化をはかっていきます。
- ② 私たちがめざす“消費者主役”の社会の一員としての、自覚的な消費者を育て、増やすために、消費者団体ならではのわかりやすい消費者教育・啓発の取り組みを推進します。
- ③ 私たちは、社会的な重要テーマである、食の安全と安心、地球環境問題、くらしのセーフティネット構築に向けて学習をすすめ、提言力をつけていきます。
- ④ 私たちは、消費者主役の社会に相応しい消費者組織として、消費者団体のあり方と全国消団連のあり方について検討を進めます。
- ⑤ 私たちは、消費者団体に対する社会的な関心が高まり、消費者団体への新しいメンバーの参加を促進できるよう、消費者団体間、マルチステークホルダーとのネットワーク作りを拡大促進するためのコミュニケーションを充実させます。

(1)消費者行政の充実

- * 消費者庁設置関連三法の附帯・附則決議の実現や「消費者基本計画」の検証・評価・監視のための政策検討や政策提言づくりをすすめます。
- * 「地方消費者行政充実プラン」への理解を深め、各地域での消費者行政に関する取り組みを強化します。
- * 「消費者契約法改正」、公正取引委員会審判制度、「地デジ」等情報通信関係課題で消費者政策に深く関わる課題について、学習して検討を深め意見提出などを行い、政策への意見反映を進めます。

(2)消費者教育・啓発(消費者力アップ)の推進

- * 各団体がこれまで行ってきた豊かな実践についての事例を収集し、交流するなどの取り組みをすすめていきます。
- * 「社会的責任に関する円卓会議」で培った政府、事業者、NGO・NPO、労働組合などとのネットワークを活かして、事例収集や学習・研究、協働事業等の取り組みを展開します。

(3)食の安全と消費者の安心の確保

- * 消費者の求める食品安全行政のあり方について、学習を続けながら論議していきます。
- * 食料・農業問題に対する消費者の理解促進のための取り組みや、食の安全についてのリスクコミュニケーションを促進する取り組みを、行政や、専門家、関連する事業者と連携しながら進めます。
- * HACCP普及促進関連事業(2年目)に取り組み、学習会や工場見学会などを行いながら、消費者の認知度向上のためのツールを作成します。

(4)地球温暖化防止

- * 気候変動に関する最新の情報や、国際的な協定、政府の政策、事業者の取り組み等についての学習を進めながら、全国消団連としての意見表明や提案等を行っていきます。
- * 各地の団体の取り組みを情報収集して発信し、取り組みを広げていきます。また一人ひとりの消費者ができる“くらし方の見直し”などについても情報発信していきます。

(5)くらしのセーフティネット構築

消費税、住まい、多重債務、福祉や物価、社会保障など、消費者の視点に基づいて、消費者の関心が高く時宜に適ったテーマについて学習を進めます。

(6)これからの消費者団体の果たすべき役割とあり方、機能論議

本格的な「消費者主役の社会」の実現をめざし、新たな時代を担う消費者団体の果たすべき役割とあり方、機能強化と体制のあり方、それらを支えるための財政のあり方についての論議をすすめます。

(7)機関運営の充実

(8)幅広い参加による、課題別検討委員会・テーマ別グループの運営

(9)参加の拡大とネットワーク強化

(10)第49回全国消費者大会(2010年11月12-13日)開催支援